

2021 年 9 月 24 日

各位

### 「SDGs 応援リース」の契約及び寄付について

株式会社山形銀行（頭取 長谷川 吉茂）の 100%子会社山銀リース株式会社（社長 柿崎 正樹）は、株式会社斎藤板金工業所（社長 長南 由春）の SDGs の促進に資する設備導入において、2021 年 8 月 19 日に「SDGs 応援リース」を下記のとおり契約いたしました。

また、2021 年 9 月 29 日にリース料の一部を鶴岡市立豊浦中学校へ寄付することとなりましたのでお知らせします。

「SDGs 応援リース」はお客さま及び地域の SDGs を促進することを目的とする商品です。商品の特徴として、お客さま及び当社で選定した SDGs の促進に向けた取組みを行っている団体へリース契約額の 0.2%相当額を寄付いたします。

当社はこうした取組みを通じて、お客さま及び地域社会の SDGs への取組みを全力で支援してまいります。

### 記

|                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 契約企業名                     | 株式会社斎藤板金工業所                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 代表者                       | 長南 由春                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 所在地                       | 山形県鶴岡市道形字二ツ屋 64-1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 事業内容                      | 精密板金加工・建築板金                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| SDGs 促進に資する設備<br>(総称)     | アマダ製 高効率液圧プレス機<br>ハイブリッドドライブベンダー (HG1003ATC)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 契約概要                      | 物件価額 45 百万円 リース期間 7 年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 企業の特徴・SDGs 促進に<br>向けた取組み等 | 別紙 1 参照                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 寄付                        | 寄付先 鶴岡市立豊浦中学校（校長 沓沢 誠）<br>寄付額 金 105 千円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 対応する SDGs                 | <物件による SDGs 促進><br>    |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>&lt;寄付による SDGs 促進&gt;</p> <div> <div> 4 質の高い教育を<br/>みんなに  </div> <div> 16 平和と公正を<br/>すべての人に  </div> <div> 17 パートナーシップで<br/>目標を達成しよう  </div> </div> |
| その他 | <p>本契約は「ESG リース（ESG リース促進事業補助金制度）」にも該当。当該制度の補助金が機器による補助率に加え、当社の「特に優良事業者指定」による補助率が上乗せとなり、株式会社斎藤板金工業所に支給されております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

以 上

本件に関するお問い合わせ先  
 山銀リース株式会社 本社営業部  
 山川（政）・高橋（雅）  
 TEL 023-632-4983

## 1. 企業概要

(1) 企業名：株式会社斎藤板金工業所

(2) 代表者：長南 由春

(3) 所在地ほか：

〒997-0012 山形県鶴岡市道形字二ツ屋 64-1

TEL 0235-24-5112 FAX 0235-24-5984 e-mail [chounan@s-bankin.co.jp](mailto:chounan@s-bankin.co.jp)

(3) 創業：1937 年（昭和 12 年）

(4) 従業員：55 名

(5) 主要品目：精密板金加工部門（80%）、建築板金部門（20%）

(4) 主要取引先：(株)日立 HMS、(株)三友製作所（医療機器）

(株)光洋（外壁・屋根板金）ほか

## 2. 契約内容

(1) 「SDGs 応援リース」（契約日：2021 年 8 月 19 日）

※「ESG リース」（ESG リース促進事業補助金制度）にも該当

(2) SDGs 促進に資する設備：

(株)アマダ製 高効率液圧プレス機

ハイブリッドドライブベンダー（HG1003ATC）

・縦型 18.5 インチマルチタッチ式 LCD パネル採用。スマートフォンのような直感的な画面操作で、プログラムや曲げに必要な情報を一目で確認でき、成形情報もリアルに表示可能。新入オペレーターでも簡単に操作が可能となる。

・角度センサー（Bi-S）を搭載し、1 枚目から試し曲げなしで角度出しが可能。省資源化に寄与する。

・自動金型交換装置（ATC）を搭載。【時短】高速な金型交換で多品種少量生産の作業効率が向上。【平準化】作業者のスキルに左右されない。【生産性向上】金型レイアウトを「プログラム化」「自動化」することで生産性が向上。複数パーツを「一括段取り」することで更なる効率化が可能。【安全性】金型交換中の危険作業からの解放。【負担軽減】重い金型を持つことがなく、実作業に集中できる。【精度維持】金型を手で搬送しないため、損傷リスクが激減。

・安全装置（PSEnvip）、セーフティシャッターで安全性が高まる。自動スライドフットペダル、LED 照明で作業環境が向上する。

・新ハイブリッド・ドライブシステムの高速接近 220mm/s、高速曲げ 20mm/s、高速戻り 250mm/s により生産性が向上する。油圧モーターの稼働はテーブル動作時のみで低消費電力に寄与。圧力上限値 500%（従来機 150%）に対応する新ハイブリッド・クラウニングシステムにより全長のどこで曲げても±15`の通り精度を実現。

・新バックゲージシステムにより従来機比 Y 軸速度 1.5 倍、Z 軸速度 2 倍となり、生産

性が向上。

・導入効果事例【導入前】マシン 5 台・作業員 5 名 ⇒ 【導入後】マシン 3 台・作業員 3 名。汎用機 3 台分を 1 台で対応が可能となる。

(3) 物件価額：45 百万円

(4) 契約期間：7 年

(5) 寄付：寄付先 鶴岡市立豊浦中学校（校長 沓沢 誠）長南社長の母校

寄付金贈呈式 2021 年 9 月 29 日

寄付額 105 千円（山銀リース（株）名義、形式的には当社と連名）

(6) 設備投資による SDGs 促進（メイン目標は◎印）

NO.3「すべてのひとに健康と福祉を」

◎NO.7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

◎No. 8「働きがいも経済成長も」

◎No.9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

NO.11「住み続けられるまちづくりを」

◎NO.12「つくる責任つかう責任」

NO.13「気候変動に具体的な対策を」

(7) 寄付による SDGs 促進（メイン目標は◎印）

◎NO.4「質の高い教育をみんなに」、NO.11「住み続けられるまちづくりを」

NO.12「つくる責任つかう責任」、NO.15「陸の豊かさを守ろう」

◎NO.16「平和と公正をすべての人に」

◎NO.17「パートナーシップで目標を達成しよう」

(8) 「ESG リース」（ESG リース促進事業補助金制度）にも該当

補助率：2%（機器による補助率 1%+指定リース事業者上乘せ 1%）

### 3. 当社の SDGs・ESG への取組経緯・取組内容

(1) 取組経緯（取引先の要請から当社自身の理解と参画へ）

① 2004 年、取引先より品質基準「欧州 RoHs 指令」に沿った品質要請があり、ISO9001 を取得。同時に環境 ISO14000 取得の打診もあったが、ハードルが高すぎるため断念。

② 2009 年より eco アクション取得に取組開始。2011 年に eco アクション 21 及び山形 eco アクション 21 を取得。

③ 2019 年、鶴岡市鉄工業懇話会にて「地球温暖化」及び「SDGs」に関する講義があり、それらへの取組みの重要性についてあらためて認識。

④ 2019 年頃より主要取引先等より「SDGs」への取組みについて強い要請を受けるようになる。長南社長自身も SDGs の趣旨に賛同し、2020 年より個人及び会社で具体的な取組みを開始、現在に至る。

(2) 取組内容（本件以外）

- ① 脱炭素、CO2 削減に資するため、機械は省電力 eco 設計の最新機種、社内照明の完全 LED 化、ペーパーレス化・再生紙使用、環境配慮型文房具の利用なども推進。
- ② ボランティア活動として、毎月 1 回会社周辺の清掃活動（4～11 月）、当社「園芸愛好会」による道端花壇のお世話、全社で庄内浜のクリーン作戦への参加・プラスチック廃棄物等の環境ごみの収集・清掃活動を実施。（春 1 回）。
- ③ こうした取組みを、社員や取引先を巻き込んで今後も継続していく所存。

以 上